

SUGINAMI CITIZENS'

杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

開催レポート

第1回：気候危機の基礎を学ぼう

2024年3月20日（水・祝）9:00～12:00

杉並区役所



1 | 実施概要

日時	2024年3月20日（水・祝）9:00～12:00（3時間）
場所	杉並区役所 本庁舎 第4会議室（杉並区阿佐谷南1-15-1）
テーマ	第1回：気候危機の基礎を学ぼう
概要	気候危機の現状と区民の役割に関する総論と、「エネルギー」のテーマについて、気候変動問題に対する取組を行う学識者、若者世代、事業者、中間支援団体、行政が、それぞれの立場で情報提供し、杉並区の気候変動対策に何が必要か多角的な視点から理解を深めました。
参加人数	68名

2 | 当日のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	9:00	5分	あいさつ・はじめに
	9:05	10分	オリエンテーション：気候区民会議の目的と全体の進め方など
総論： 気候危機の 現状と 区民の役割	9:15	15分	なぜわたしたちは、気候変動問題に取り組まないといけないのか？ 江守正多 東京大学未来ビジョン研究センター教授／ 国立環境研究所上級主席研究員
	9:30	10分	わたしにとっての気候変動問題：若者世代からのメッセージ 芝崎瑞穂 Change Our Next Decade 代表理事／ 北海道大学大学院文学院 博士後期課程
	9:40	10分	なんで気候区民会議をやるの？：ミニ・パブリックスの意義 三上直之 名古屋大学大学院環境学研究科 社会環境学専攻 教授
	9:50	20分	グループで意見交換：感想の共有
	10:10	5分	意見交換のポイントの共有（グループファシリテーターより）
	10:15	10分	環境先進都市杉並を目指して：ゼロカーボン社会を創造しよう 岸本聡子 杉並区長
	10:25	5分	質疑応答

プログラム	時間		概要
	10:30	10分	休憩
テーマ： エネルギー 	10:40	45分	気候変動問題に対処するため、 どんなエネルギーをどのように使えばいいの？ モデレーター： 小嶋公史 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES） 関西研究センタープログラムディレクター・ 上席研究員 パネリスト： 高木直樹 信州大学・名誉教授 工学部建築学科 谷田智洋 株式会社 細田工務店 鈴木知子 一般社団法人地球温暖化防止全国ネット （全国地球温暖化防止活動推進センター：JCCCA） 有坂直子 杉並区環境部温暖化対策担当
	11:30	15分	グループで意見交換：感想の共有
	11:45	7分	質疑応答
まとめ	11:52	8分	まとめ・次回ご案内
	12:00		終了

3 | 情報提供の様子・記録

情報提供の詳細は、区ホームページに掲載している当日の資料や記録動画をご覧ください。

■総論：気候危機の現状と区民の役割（講演）



江守正多 東京大学未来ビジョン研究センター
教授／国立環境研究所上級首席研究員



芝崎瑞穂 Change Our Next Decade 代表理事
／北海道大学大学院文学院 博士後期課程



三上直之 名古屋大学大学院環境学研究科
社会環境学専攻 教授



岸本聡子 杉並区長

■テーマ：エネルギー（パネルディスカッション）

～気候変動問題に対処するため、どんなエネルギーをどのように使えばいいの？～



有坂直子
杉並区環境部
温暖化対策担当

鈴木知子
一般社団法人
地球温暖化防止
全国ネット
(全国地球温暖化防止
活動推進センター)

谷田智洋
株式会社
細田工務店

高木直樹
信州大学・
名誉教授 工学部
建築学科

小嶋公史
公益財団法人
地球環境戦略
研究機関
(IGES)

■情報提供・意見討論のグラフィックレコーディング

杉並区気候区民会議 2024. 3. 20

第1回 気候危機の基礎を学ぼう

総論

江守先生
『なぜわたしたちは、気候変動問題に取り組まなければならないのか?』

温暖化のしくみ
温室効果ガス(人間)のせい ↑ CO2 ↑ NO ↑
化石燃料の使用が増える → 温暖化する → 海面上昇、熱波、洪水、食料・水不足、生態系崩壊

私への影響は? 自然の限界、都市に負けない、最も影響を受ける

私たちが何ができるか? 気温が1.2℃上がる! (by IPCC) → 4℃、8℃、10℃、12℃のリスク
社会システムの転換

世界目標達成には? 今までは足りない → 社会システムの転換

若者からのメッセージ
『わたしたちにとっての気候変動問題』
気候変動は環境問題? 異常気象、海面上昇、生態系崩壊
若者が声をあげる理由: 大人が想像できない未来、希望のある未来

活動はもったいない! 自然がもたらした環境で生まれた! 自然が全部だ! あり前てはなかった!

三上先生
『みんなで気候区民会議をやるの?』

欧州流の → 2020 札幌で始まる! 杉並は 18年ぶり! 最大規模!

1970年代(左) 政策として 行動の進化 提案 → 新しい法律ができる → 77年2
社会全体で取り組む → 計画の改定による アクションプランでできる → 国内で 審判がある

生活者の立場から! → どの政策をやる? 専門家を検討!

岸本区長
『環境先進都市杉並を目指して』
1972 “成長の限界”
100年以内に持続的に住める
有限の資源を活用していくために、社会の公平性を保ちたい → 持続可能性

大変なことはいい → 希望のある 前向きな課題

科学 ↔ 政治
ギブアップ → 気候区民会議で うめいこう

『気候スラット』
2018年 国際政治の底層で! 若者の行動のきっかけ!! 三上区長 賛成! 市民の行動 継続して! 気候区民会議

気候変動問題に効果的か? エネルギーをどのように使えばいい? 市民たちの家庭でのエネルギー使用を考えた

高木先生
杉並区ゼロカーボン 家庭の気候変動対策

杉並区 VS 国年平均
CO2 25t (杉並区) vs 9.7t (国年平均)
55% 家庭内削減
杉並区はゼロカーボン消費

1人ですること!
・まずは自分の排気量を知る
・何が最も消費しているかを知る
・住宅ではお風呂が大きい! 健康の影響を減らすことでお風呂の排気量を減らす

鈴木区長
『家庭でできる取組』
① 機器の使い方を工夫する
② 再生可能エネルギーを活用する
③ 知る 関心をもち 企業で作られたものを活用するの私たちが!

有坂課長
『杉並区地球温暖化対策実行計画に基づくエネルギー施策』
太陽光パネル導入補助金... 約24万円/㎡ → 20万円/㎡
東京リノベーション... 約12万円/㎡
省エネ住宅... 約10万円/㎡
区立施設の取組... ZEH化
再生可能エネルギー... 再生可能エネルギーの導入

意見討論

高木先生: 再生可能エネルギーの普及を促すために、政府が補助金を出すべきだ。また、省エネ家電の普及も重要だ。

鈴木区長: 再生可能エネルギーの普及には、地域での取り組みも大切だ。また、省エネ家電の普及も重要だ。

有坂課長: 再生可能エネルギーの普及には、地域での取り組みも大切だ。また、省エネ家電の普及も重要だ。

質疑応答
Q: 再生可能エネルギーの普及を促すために、政府が補助金を出すべきだ。また、省エネ家電の普及も重要だ。
A: 再生可能エネルギーの普及には、地域での取り組みも大切だ。また、省エネ家電の普及も重要だ。

まとめ
・全部 情報提供の100%
・みんな 関心をもち 企業で作られたものを活用するの私たちが!
・再生可能エネルギーの普及を促すために、政府が補助金を出すべきだ。また、省エネ家電の普及も重要だ。

次回
2024年 4月20日(土)
10:00-11:00 13:30-17:30
清掃工場見学 第2回 第2回会費

4 | 各グループの意見交換の記録

総論：気候危機の現状と区民の役割

[1~12グループのワークシート]

The image displays 12 individual worksheets, numbered 1 through 12, each titled "総論 | 気候危機の現状と区民の役割" (General Discussion | Current Status of Climate Crisis and Role of Citizens). Each worksheet is a hand-drawn diagram or flowchart with handwritten Japanese text. The diagrams vary in structure, often using boxes, arrows, and circles to organize ideas. Key themes across the worksheets include:

- Climate Change Status:** Discussions on global warming, CO2 emissions, and the impact of climate change on the environment and society.
- Citizen Roles:** Exploration of how citizens can contribute to climate action through lifestyle changes, community activities, and political participation.
- Policy and Action:** Mentions of government policies, local government initiatives, and the importance of public opinion.
- Challenges and Solutions:** Identification of obstacles to climate action and proposed solutions, such as education and community building.

The worksheets are arranged in a 3x4 grid. Each worksheet has a small header with the number and title, and a main body of handwritten content. The handwriting is in black ink on a light-colored background. The diagrams use various colors for highlighting and connecting lines.

1 グループ

●若者や区民の意識を向上させたい

- ・若者が今の現状を知る必要がある
- ・まずは杉並区民の意識が変わる為に
- ・色々決めれる人って誰？若者ってどんな人？

●杉並区は家庭の影響が大きいことに驚いた

- ・杉並区の温室効果ガスは家庭が1位
- ・杉並区のガス排出、家庭部門が52.8%というのが意外だった
- 杉並区では、日常生活の役割が重い…

●システムの大きな転換が必要だとわかった

- ・身近な問題ちまちましてもダメ！区としての対策
- ・社会システムの大転換が必要
- ・みんなの意識を変えるって難しそう…

●システムの大きな転換の後の未来の暮らしのイメージが湧きづらい

- ・ポスト化石燃料文明ってどんなイメージ？

●民主主義のプロセスにすることの役割がわかった

- ・ミニ・パブリックスってすごく大事そう
- ・ミニ・パブリックスの役割がわかった

●様々な地域での気候市民会議のアウトプットが見てみたい

- ・様々な地域での気候市民会議のアウトプットがもっと見てみたい

●自分は無関係だと思っていたけど、未来の世代のためにできることをやりたい

- ・気候変動放置シナリオの場合、杉並区ではどんなことが起こる？

●感染症も引き起こすなどの影響に驚いた

- ・温暖化によって感染症も引き起こすことに驚き

●自分たちだけでなく、他国や未来の子どもたちの生活に影響がある

- ・エネルギーのつくり方、エネルギーのため方両方考えないと
- ・「ニッケル」のために現地の人を苦しめていることが印象的
- ・他の国への影響も！自分たちのことだけ考えてはだめ



●**気温が 1.1°C上昇することで、地域の植生も変わっていることに納得できた**

- ・ 気温が 1.1°C上昇。花がちゃんとした時期に開花しないのも納得
- ・ ランドスケープ、地域の植生も変わってきている

●**急カーブにできるかどうか不安**

- ・ 目標値を急カーブにもっていく。本当にできる？ 恐ろしくなった

2 グループ

●**いいと思ってやっていることが他に悪影響していないか、考えさせられた**

- ・ 環境破壊が責任の無い人たちに影響してしまうことに考えさせられた
- ・ 温暖化対策のしすぎでも環境を破壊しているのは驚いた
- ・ 気候変動に取り組むにあたって逆効果になる場合もある。例えば、EV 自動車ニッケル

●**まずは知ること、行動に移せる**

- ・ 「知ること」で行動に移せるのかなと思う

●**皆でうまく生きていくことを考えたい**

- ・ 温暖化の原因が多いので細分化が必要
- ・ 環境 ⇄ 経済

●**抜本的改革が必要**

- ・ 既に日常で対策できない問題に気候変動は直面している。
例えば、節電 × → エネルギー改革 ○

●**だからこそ自分では何が出来るか**

- ・ 自分には何が出来るのだろうか、何をすれば良いのか分からない
- ・ 見える化ができると良い。例えば、車で移動した場合の環境負荷が、自転車や歩きだとどれくらい削減できるかなど
- ・ ポイント制になるとやる気がでる。例えば、ペットボトルポイント（中野区）

●**ヨーロッパは対策が進んでいる**

- ・ ヨーロッパではリユースなどの実質的な取組が盛んだが、日本ではステッカー配布などで意味がない

●**杉並のみどりを大事にしたい**

- ・ 杉並には善福寺川、妙正寺川、神田川など川沿いに緑が多いが、全区的には自然が少ないか？



●地球規模の災害に杉並区がやれる対策は限度があるが、地球に良い影響があるようにしたい

- ・地球規模の災害に杉並区がやれる対策は限度がある

●危機的状況だと感じた

- ・ヤバイ。確実に地球が温暖化している
- ・このままの状態では地球上の温度が5°C上がってしまうことに不安を感じた

3 グループ

●気候変動について危機感を感じた

- ・気候変動の危機感を知った
- ・温暖化による気温の変化が考えていたよりも大規模だった
- ・ニッケル採掘の話から多面的な考えを持たないと新しい被害が生まれてしまうと思った
- ・新興国への環境負荷が大きいこと

●実現に向けて今までの利便性とのバランスをとることが難しい

- ・温暖化を止めるため「我慢」できることを探してみよう
- ・ある程度の不便は必ず必要であることを感じました
- ・減らすことなく実現できるか
- ・逆産業革命のようなことなのかもしれない

●気候変動への気づきがあった

- ・温暖化を止めるため「我慢」できることを探してみよう
- ・経済と密接に気候変動となるのかな
- ・20~30年かけて環境が変わること。子ども達への取組
- ・一人一人の環境意識
- ・あと何年生きられるか。環境が良くなると良いな
- ・気候変動について分かりやすい説明が良かった

●市民会議の重要性を知ることができた

- ・杉並区の進取の施策？ 気概を誇らしいと思った
- ・市民会議の重要性
- ・多世代の皆で考えていきたい
- ・若者世代と高齢者世代との世代間ギャップをどう埋めるか



- ・ミニ・パブリックスの意義を知りえた

●若者の感性に気づけた

- ・若者世代の感性に気付けた

●的確な話を聞いた

- ・芝崎さんの話が的確で良かった

●質問

- ・最大の排出原因が気になった

4 グループ

●世代や地域を超えた影響を考える必要がある

- ・気温上昇による自然災害を実感するので対策しないとイケない
- ・杉並区のことだけでなくその先も考えていきたい
- ・若年層に対し非常に申し訳ない
- ・次世代への影響を考える必要がある

●杉並の置かれた状況を知り、効果のある取組を勉強したい

- ・杉並区は家庭部門からの排出が多い
- ・ニッケル採掘場の話が新たな気づきだった
- ・霧囲気に流されるのは危険。勉強が必要
- ・どの取組が効果があると考えられているかを知りたい

●世代によって意識が違うのではないか

- ・世代間の意識の違い
- ・若い人の方がごみのポイ捨てをしがちかもしれない
- ・無作為抽出された5,000人中会議に参加した時点で、意識が高い人の集まりでは？
- ・子を持たない人が増えている。もしかしたら、次世代への意識が違うかも？

●大きな話の中で、環境への取組に参加していない国の存在はどう考慮できるか

- ・話が大きすぎてイメージが湧きにくい

●環境への取組で、プラス面とマイナス面を考慮することが必要

- ・プラスになる面とマイナスの面を考慮することが必要



5 グループ

●高齢者と若者で見え方が変わる

- ・ 2050 年の捉え方が違う
- ・ 70 年以上生きた人間としては 2050 年はすぐ先のこと
- ・ これからの子どもは今の生活を享受できない
- ・ 今の子どもは既に享受できない

●気候区民会議の考え方が新鮮だった

- ・ SDGs16「平和と公正を全ての人に」の考え方が新鮮（区民会議のあり方）
- ・ ミニ・パブリックスの知識は全く無かったのですが、パリではそれが法律になったと知り、驚いた

●技術革新に期待をしたい

- ・ CO₂などの出す量を減らすだけでなく抜本的に減らす技術は導入できないか
- ・ 技術はあるがコストがかかってしまう

●国際目標達成の姿を想像するのが難しい

- ・ リサイクル、リユース、リデュースの3つを意識しているだけじゃ、もう遅いのか
- ・ 今から取り組まないと下げられない
- ・ このままではティッピングポイントにすぐに達してしまいそう

●国際目標の達成に向けてかなり努力をしないとイケない

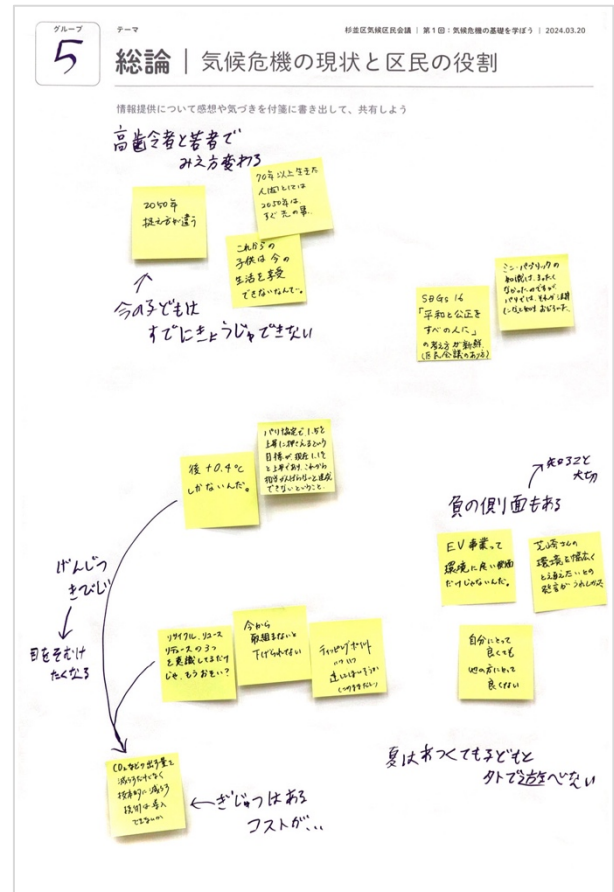
- ・ 現実には厳しく、目をそむけなくなる
- ・ あと+0.4°Cしかないんだ
- ・ パリ協定で1.5°C上昇に抑えるという目標が、現在1.1°C上昇であり、これから相当頑張らないと達成できないということ

●環境に考慮した取組の負の側面も知ることが必要

- ・ EV 事業って環境に良い側面だけじゃないんだ
- ・ 芝崎さんの環境を幅広く考えたいとの発言が嬉しかった
- ・ 自分にとって良くて他の方にとって良くない

●すでに地球温暖化の影響は深刻

- ・ 夏は暑くて子どもと外で遊べない



6 グループ

●電気自動車（EV）と環境破壊（ニッケル）

- ・環境に配慮した商品（EV とか）でも実は温暖化につながっている事例をもっと知りたい
- ・電気自動車のような温暖化対策に思えるものも、その部品をつくるために森林破壊されていることに驚いた
- ・EV とニッケルの関係の様に奥が深い問題にも注力が必要
- ・ニッケルが良い訳でもない

●自然とは何かを考えさせられた

- ・「自然」とは何か？何も手を付けていない状態のことを自然というのか、都会の中にあるような緑は自然とは言えないのではないかな。いろいろ考え方がありそうだ

●行政ですべてできるわけではない

- ・行政で出来ることと出来ないことの論点整理が必要

●法律を変えないと解決できないのでは

- ・法律を変える必要がある

●温室効果ガス消す技術

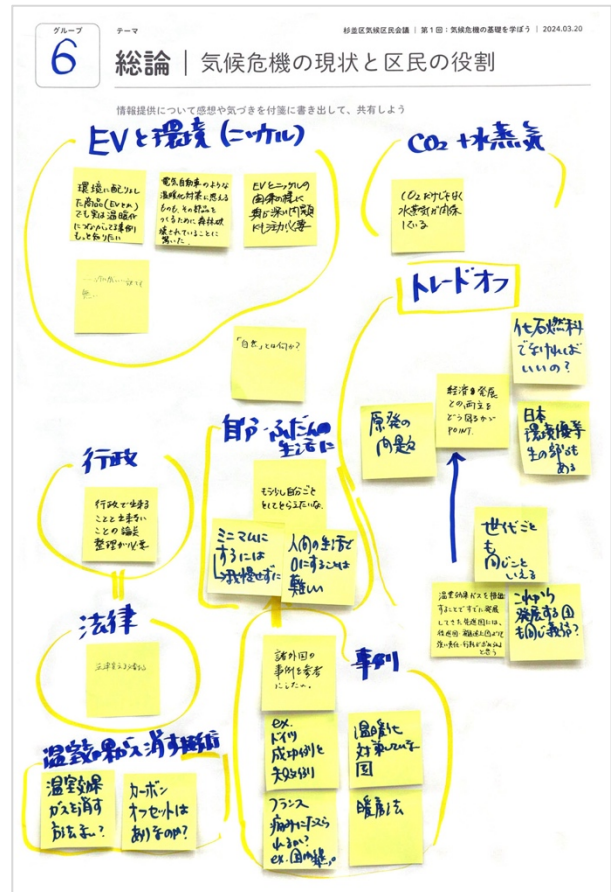
- ・温室効果ガスを消す方法は無い？これ以上増やさないようにする取組だけでなく、すでにある温室効果ガスをなくすような技術があればそうしたものも知りたい
- ・カーボンオフセットはありなのか？自分たちが排出した CO₂を別のところで調整するという考え方は、そもそも良いのか疑問に感じる

●自分、普段の生活のなかでできること

- ・もう少し自分ごととして捉えたいな
- ・我慢せずに CO₂をミニマムにするにはどうしたらいいか
- ・人間の生活で CO₂をゼロにすることは難しい

●事例から学びたい

- ・諸外国の事例を参考にしたい：たとえば、ドイツの成功例と失敗例
- ・フランスの取組のように痛みに耐えられるか？たとえば、国内線をストップして CO₂排出を減らすという案まで出てきている。そうした痛みを伴うような取組までできるのか
- ・中国やインドなど温暖化対策していない国もある
- ・暖房法という取組をしている国もある



●CO₂ + 水蒸気

- ・CO₂だけでなく水蒸気が関係している

●トレードオフ

- ・化石燃料でなければいいの？
- ・原発の問題のようにCO₂を排出しなければ原子力発電が進んでしまうことをどう考えたらいいか
- ・経済の発展との両立をどう図るかがポイント
- ・日本はかつて環境後進国だったが、技術開発などで環境優等生になった部分もある
- ・これから発展する国も同じ義務を負わなくてはいけない？
- ・温室効果ガスを排出することで既に発展してきた先進国には、後進国・発展途上国よりも強い責任・行動が求められると思う
- ・国家間だけでなく、世代間でも同じこといえ

7 グループ

●対策が別の問題を引き起こすのではないかと いう視点に共感した

- ・対策が、別の問題を引き起こさないか？という視点
- ・よく言ってくれた！と思った

●ゼロカーボンとはなにか、最終目標を示してほしい

- ・ゼロカーボンとは？

●今回の参加者が決まる経緯を聞き、数字が減っていくことにいろいろ考えさせられる

- ・個々の来ている人は 5000 人→199 人→77 人。4801 人は断った

●気候区民会議の参加者の選び方について、 社会の縮図ってどういうことだろう

- ・メンバー抽出の仕方について→「社会の縮図」って何だろう？

●思っている以上に差し迫った課題だった

- ・差し迫った課題

●個人ではできないことや行政の施策に関わることにワクワク感がある

- ・「個人でどうこう」できない対策に携われるわくわく



●今回のような「正解がない」物事を決める時のプロセスってどうなるんだろう

- ・「正解がない」物事の決め方

●対策の効果が出るのはずっと先のことなので、もっと短期的にできる他の方法は無いのか

- ・CO₂とかをなくす方法は無いの？
- ・熱を宇宙に放出する方法は無いのか？
- ・そこから個人でできることはあるのか？

●気候区民会議のような取組がすでに日本でも世界でもたくさん行われていた

- ・気候区民会議が実は世界中(?)でもう行われている

●当事者意識を持って市民ができることはなにか

- ・当事者意識。身近でできることは？
- ・その成果は？
- ・専門家や行政にできなくて市民が考えればできることって何だろう？

●「我慢せずに」と講演の中であったが、本当にそれで気候変動が止められるのか

- ・「我慢せずに」できる対策で気候変動を本当に止められるのだろうか？

●温暖化に関する痛みや対策についての意識や知識を高めるために、区からも関心を高めるような情報発信が重要

- ・何をしたら良いのかが分かりにくいので、区からも情報を出すことが重要
- ・温暖化の痛みを感じにくいので、意識、知識を高めることが大事

●気候問題は若者にとっては深刻な問題だからこそ、小中高生もこの会に参加できると良さそう

- ・気候問題は若者世代にとってこそ深刻である

●「自然」という言葉が出てくるが、街路樹など人の手が入ったものは含まれるのか？

- ・自然って？…人の手が入っていることも含まれる？

●区の本気度がわからない、アピールなのではないかという気持ちもある

- ・本気なのか、アピールなのか
- ・病院の移転先として森林の多い個人宅があった場所になった
- ・自然を減らすようなことと今回の会議が相反している

8 グループ

●環境対策も、別の問題を引き起こす事があることを知った

- ・環境に良いと思っている EV 自動車が、パーム油の洗剤などが実は環境を悪化させていること
- ・(芝崎氏) 気候変動の抑止が却って自然環境の破壊となる (ニッケル工業など)
- ・良い行動と思っていたことが他の国では困ったことになっていたと知り驚いた (EV 自動車の事)
- ・対策が他の問題を引き起こすリスクがあり、杉並区のためだけににならない話が印象的
- ・裏側も考える

●化石文明から、次の文明への転換期にあると思った

- ・次の文明の変換期に生きているかもしれないということ
- ・化石文明から次の文明を考える時になっている (江守氏)
- ・転換期にいる自覚をもつことの大切さ
- ・文明の転換期

●民主主義のあり方を考えるきっかけになった

- ・気候市民会議が民主主義のあり方までつながることに感銘を受けた (三上氏)

●気温の上昇を抑える大変さを知った

- ・気温の上昇を 1.5°C に抑えるのがとても大変だということ

●緊急性のある問題で、将来世代に対する負担が多いと思った

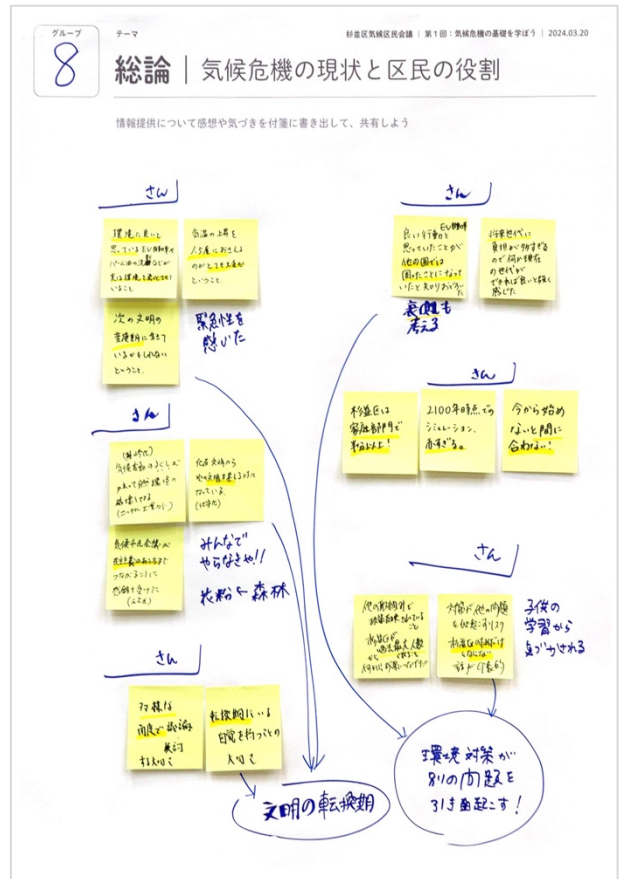
- ・将来世代に負担が多すぎるので何か現在の世代ができればいいと強く感じた
- ・緊急性を感じた
- ・今から始めないと間に合わない!
- ・みんなでやらなきゃ!
- ・対策を講じなかった場合の 2100 年時点でのシミュレーション、赤すぎる

●多様な角度から検討する大切さを感じた

- ・多様な角度で議論・検討する大切さ
- ・花粉←森林

●杉並区では家庭部門が多い事を知った

- ・杉並区では家庭部門で半分以上!



●杉並区の気候区民会議が過去最大の参加人数でもあり、政策反映に効果を出したい

- ・他の取組で政策反映されていること杉並区が過去最大人数であることから何かしら効果に繋がりたい

●子どもの学校での学習から大人が気づかされる事がある

- ・子どもの学習から気づかされる

9 グループ

●私たちの生活行動が与える環境負荷に気づいた

- ・インドネシアのパーム油、プランテーションを聞いて便利の裏側を思い知らされた
- ・画像の地図がだんだん赤一直線に染まっていくのを見て怖くなった
- ・一つの対策が負の影響を持っている場合があるのに驚いた
- ・そうしたようなことを念頭に普段の生活の中で自分も気を付けていきたい

●トップダウンの命令で行動は変えられなそう

- ・トップダウンの命令で行動かえられなそう

●気候危機に立ち向かう「若者」から学ぶ

- ・自分のような大学生が、「若者」としての当事者だという自覚を持たなければならないと感じた
- ・若い方の国際的な知見や視点に頭が下がる…

●自然、緑の大切さを通して気候危機に立ち向かう

- ・造園系を専攻する身として自然や緑地の面から環境を考えていきたい
- ・自然を身近に感じて敬いたい（アニミズム）
- ・緑化に努める
- ・自然としゃべりたい（テクノロジー）
- ・自然のエネルギー（太陽など）を有効利用する

●より多くの方が気候変動について知る機会をつくりたい

- ・知らないことが多い
- ・豊かさについて学ぶ
- ・意識を変える教育が必要
- ・日常考えていない知識について学べるチャンスがありとてもいいと思った



10 グループ

●コトの大きさに衝撃を受けた

- ・気候変動の及ぼす影響の大きさを知った
- ・温暖化は思っていた以上に解決策が必要

●2050年、次の世代に何ができるのか？

- ・2020年に生まれた孫のことを思った
- ・リスクが大きい世代だ
- ・次の世代に何を残せるのだろうか？
- ・世代間を超えた取組がしりたい

●講師の話聞いて驚いた

- ・インドネシアのニッケル採掘問題という副作用が起こっていることは知らなかった
- ・現在解決策としてやっていることが他の問題を起こしていることにびっくりした
- ・良かれと思ってした対策が別の問題を引き起こす可能性がある
- ・杉並区の温室効果ガス排出量の内訳の半数以上が家庭部門で驚いた

●世界規模の問題を自治体レベルで取り組む意義は？

- ・問題のスケールの大きさに対して、自治体単位での対策はイメージしづらい
- ・他の自治体、国がどのような対策をとっているのかが気になった
- ・区レベルで取り組む意義は？

●個人を動かすためにはインセンティブや罰則など社会を大きく変える仕組みや制度が必要だ

- ・一人一人が対策をしなければ温暖化を抑えることはできない
- ・我慢することを回避すべきというのは共感できた
- ・我々の生活で出来ることは意識せずに取り組めるようにしていくことが重要
- ・大きく変える仕組み・制度が必要



11 グループ

●地球の現状を知らないことに気付いた

- ・そもそも地球の現状を知らないことに気付いた

●思っていたより事態は深刻で驚いた

- ・思っていたより問題が深刻で驚いた
- ・地球温暖化が自分が思っている以上に進んでいることに驚いた
- ・食糧不足や水不足にもつながると知った。もっと考えないといけないと思った
- ・これから先の変動シミュレーションを見て怖さしか感じない
- ・対策を取らなかった時の温暖化が恐いな

●若い世代がしっかり考えていかないと！

- ・世代間の認識を合わせたい
- ・今 20 代の自分でも 2050 年には 50 代で、今こういった政策の中心にいる人はすでに関わっていない可能性があるので、自分たち若者がしっかり考えないといけないと思った
- ・気候問題が他人事ではないことを理解する

●どんなアクションをしたら良いかわからない

- ・どんな対処があるか考えみてと言われても・・・何をしていったら良いのかわからない

●EV 車の普及による環境破壊もあるため、誰に・何にとって良いことが難しい

- ・EV 車普及の環境破壊は知らなかった
- ・EV 自動車のためのニッケル採掘（副作用）
- ・自分たちの考えた政策のせいで別の場所で別の問題を引き起こす可能性などは考えていなかった

●気候区民会議が先進的であればいい

- ・関わっている人が多くて気合いがすごい
- ・この区民会議の取組自体が先進的なんだと思った

●前の人・世代の行動が次の人・世代に影響する

- ・プログラムの進行の時間配分と環境問題への意識が、前の世代のツケが後の世代に行くことに似ている



12 グループ

●全員に関わる問題である

- ・老若男女、全員に関わる問題

●市民が熟議することが大切

- ・市民が熟議することに意味がある
- ・効果が見える提言が必要

●気候変動が他の問題を起こしているという現状を知る必要がある

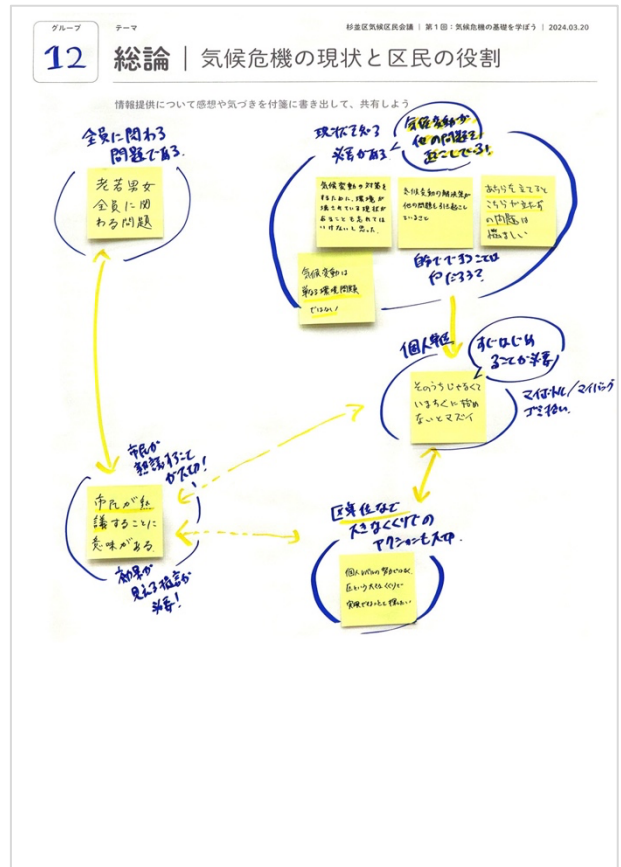
- ・気候変動の対策をするために環境が壊されている現状があることも忘れてはいけないと思った
- ・気候変動の解決策が他の問題を引き起こしていること
- ・あちらを立てるとこちらが立たずの問題は悩ましい
- ・気候変動は単なる環境問題ではない
- ・自分でできることはなんだろう？

●個人単位でできることはすぐ始めることが必要

- ・そのうちじゃなくて、今すぐに始めないとまずい
- ・マイボトル、マイバック、ごみ拾いなど

●区単位など大きな括りでのアクションも大切

- ・個人レベルの努力ではなく区という大きな括りで実現できることを探したい



エネルギー

[1~12グループのワークシート]

12 worksheets (1-12) titled "エネルギー" (Energy) with handwritten notes and diagrams. Each worksheet includes a title, a question, and a central theme.

- 1 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 2 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 3 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 4 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 5 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 6 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 7 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 8 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 9 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 10 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 11 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？
- 12 エネルギー** | 気候変動問題に対する考え、気候変動対策の重要性をどう認識しているか？

Key themes and terms in the worksheets include:

- 個人でできること (What I can do individually)
- 社会的責任 (Social responsibility)
- 気候変動 (Climate change)
- 再生可能エネルギー (Renewable energy)
- 脱炭素社会 (Carbon neutrality)
- SDGs (Sustainable Development Goals)
- 気候変動対策 (Climate change measures)
- エネルギー効率 (Energy efficiency)
- 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)
- 気候変動の影響 (Impacts of climate change)
- 気候変動の原因 (Causes of climate change)
- 気候変動のリスク (Risks of climate change)
- 気候変動の適応 (Adaptation to climate change)
- 気候変動の緩和 (Mitigation of climate change)
- 気候変動の公正な移行 (Just transition)
- 気候変動のレジリエンス (Resilience)
- 気候変動のガバナンス (Governance)
- 気候変動の意識 (Awareness)
- 気候変動の教育 (Education)
- 気候変動のコミュニケーション (Communication)
- 気候変動の政策 (Policy)
- 気候変動の法律 (Law)
- 気候変動の国際協定 (International agreements)
- 気候変動の科学 (Science)
- 気候変動の経済 (Economy)
- 気候変動の社会 (Society)
- 気候変動の文化 (Culture)
- 気候変動の倫理 (Ethics)
- 気候変動の哲学 (Philosophy)
- 気候変動の歴史 (History)
- 気候変動の未来 (Future)
- 気候変動の希望 (Hope)
- 気候変動の勇気 (Courage)
- 気候変動の責任 (Responsibility)
- 気候変動の行動 (Action)
- 気候変動のリーダーシップ (Leadership)
- 気候変動のイノベーション (Innovation)
- 気候変動のパートナーシップ (Partnership)
- 気候変動の多様なステークホルダー (Diverse stakeholders)
- 気候変動の透明性 (Transparency)
- 気候変動の信頼 (Trust)
- 気候変動の誠実さ (Sincerity)
- 気候変動の謙虚さ (Modesty)
- 気候変動の寛容さ (Tolerance)
- 気候変動の忍耐 (Patience)
- 気候変動の勇気 (Courage)
- 気候変動の誠実さ (Sincerity)
- 気候変動の謙虚さ (Modesty)
- 気候変動の寛容さ (Tolerance)
- 気候変動の忍耐 (Patience)

1 グループ

●賃貸住宅は対策が難しいが、太陽光パネルなど導入したいと感じた

- ・賃貸住宅の対策がないことは問題を感じた
- ・マンションに住んでいるけど、太陽光パネルをつけたい！と思いました

●区の様々な取組があり、もっと情報が知れる工夫があると良い

- ・区の様々な取組を知ってびっくりした。もっと積極的に区民に届ける取組が必要になるのでは、

●太陽光パネルや EV の充電スポットなど、様々な省エネ対策や脱炭素化をもっと理解し、できることは取り組みたい

- ・太陽光パネルは屋根だけでなく、路面にもある
- ・東京ソーラー屋根台帳、経済的メリットと環境的メリット両方知りたい
- ・住宅での取組は分かったけど、その周りやまちでの取組はできるの？遮熱、コンクリート製品とか
- ・太陽光パネルや EV の充電器がもっと増えるといいなと思った
- ・UR 住宅 太陽光パネル。内訳を理解していない。意識を変える
- ・機器を買い換えることも省エネに！！

●木造住宅のメリットはわかったが、環境への配慮などがどの程度できるのかを知りたい

- ・結局昔からの木造住宅が環境に良いことがわかった
- ・木造住宅、木を切る点では環境にどうなの？
- ・木造住宅と鉄筋住宅が省エネなのはわかる。ごみになるときそのエネルギーも気になる



2 グループ

●個人でできることを考え、今日の話を中心に話して、共有していきたい

- ・省エネについて勉強になった。(エアコンを掃除しようと思った)
- ・今日の内容を友達や家族と共有して自分たちにできることを探していきたい
- ・エコワットメーターを借りて現在の使用量を確認したい

●個人だけでできることには限りがあると感じた

- ・区内の個人家庭の CO₂排出量が 50%と聞き、各個人が減らすのは並大抵でない
- ・断熱使用住宅などはわかるが、コストパフォーマンスや償却期間を考えると、若い世代の課題、年寄りには関係ない

●なみすけアプリで情報の一元化やゲームしながら省エネをしたい

- ・区民にとってメリットをアプリで活用してほしい (助成金、レンタル品等)
- ・杉並区の実績をもっとわかりやすくしてほしい
- ・助成金やサービス等の周知の大切さ ex)エコ家電、電力検査機 (←ビックカメラの店員さんから教えてもらった)

●区の実績について知らなかったのが期待したい、もっと PR してほしい

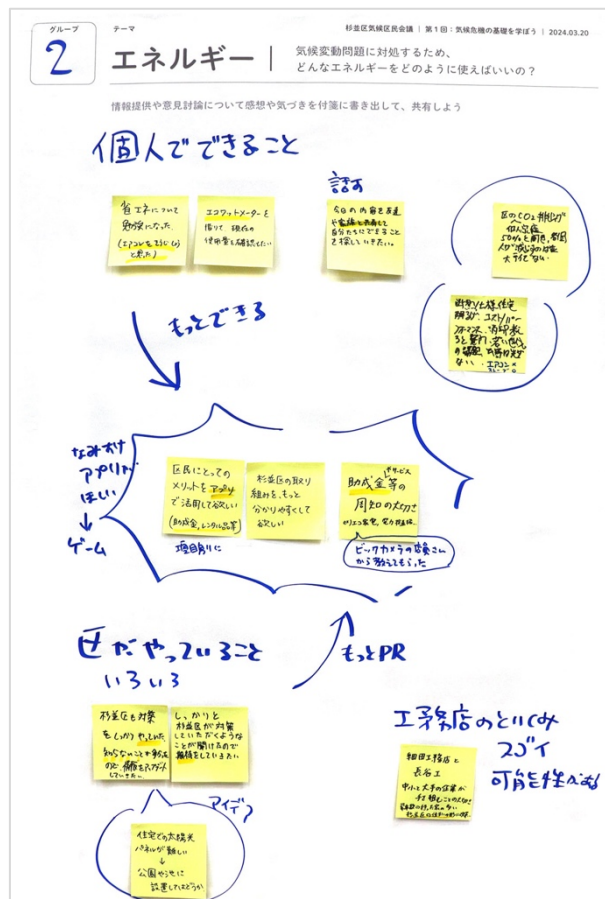
- ・杉並区も対応をしっかりとやっていた。知らないことが多かったのが期待したい
- ・しっかりと杉並区が対策していただくようなことが聞けたので期待をしたい

●住宅に太陽光パネルを設置できない人もいますので、公園や池などの公共空間に設置してはどうか

- ・住宅での太陽光パネル設置は難しい。公園や池に設置してはどうだろうか (アイデア)

●工務店の取組も可能性を感じる

- ・細田工務店と長谷工、中小と大手の企業が手を組むことの大切さ。築年数のたった家が多い。杉並区の住まいの形に改革



3 グループ

●具体的な省エネについて知れて良かった！

- ・ソーラーパネルは環境・経済的にも必要なものだと思います
- ・自分でできる具体的な省エネを知ることができと良かった

●脱石炭エネルギーが社会の目指す姿

- ・原発の利活用は気候変動問題では必要と思う。避けて通れない
- ・脱化石エネルギーを目指す CO₂削減に有効だから

●お金・時間が大きなハードルになっていることが気になる

- ・太陽光パネルの維持費やコストが気になる
- ・省エネ活動は手間がかかるものが多い
- ・大きなハードルは経済的理由イニシャルコストが問題
- ・金、時間にゆとりがないとできない。どう作るのか？

●排出量を減らすための整備やルールをつくる／現状を数値で把握する

- ・杉並区の約 50%の排出量中 15%が車からなら、自転車の推進。木、専用道路
- ・一極化しない町にする？一極化→混雑→余分な CO₂時間の変更等(移動する時間などを分ければ、生活への負担は少ない)
- ・戸建て・集合、各建物の(断熱)数値評価(をすることで状況を数値化して把握するとよい)
- ・地面の素材等も区道等変更しては？

●省エネの工夫を身近なところからしていきたい

- ・省エネ住宅を建て替えの時には要検討したい
- ・省エネに対する小さな工夫。例えば窓からの熱は灯にしてカーテンとかをしていこうと思います
- ・自分の身近なものから省エネを考えたいと思います。例えば家電省エネに

●エコワットメーター使いたい！

- ・エコワットメーター使いたいなと思います

●現状を広く知らせることが必要である

- ・東京都・杉並区の省エネ支援施策の PR が必要と思った
- ・エネルギーをどう使っているか？を知る。メーターの活用
- ・再生エネルギーやエコ化(電気など)の選択を増やす
- ・助成金やエコワットメーターの周知が足りない



●質問

- ・他の産業廃棄物量がかなり少ないエリアの家庭排出量は？
- ・木造住宅の防音や強度の性能が気になった

4 グループ

●柔軟に考えたい

- ・新しいことをするには頭を柔らかくする

●無理なく気軽に取り組みたい

- ・ソーラーパネルをベランダ等に設置できたらいいのに
- ・無理することのない取組をする←100 均で買える窓に貼る断熱シートを使っている
- ・我慢して節電以外の方法で

●賃貸向けの話も重要では？

- ・戸建て向けの話多め？賃貸、アパート、マンション向けの話が気になる。次世代はこの形態多そう。インパクトも大切そう

●木造住宅や家庭用太陽光発電のデメリットは？

- ・木造住宅普及で森林伐採は環境破壊にならないの？
- ・太陽光パネルを勧めていたが、将来の廃棄する時のデメリットも考えると気が進まない

●今日からできるコトを、スケールの小さい話から

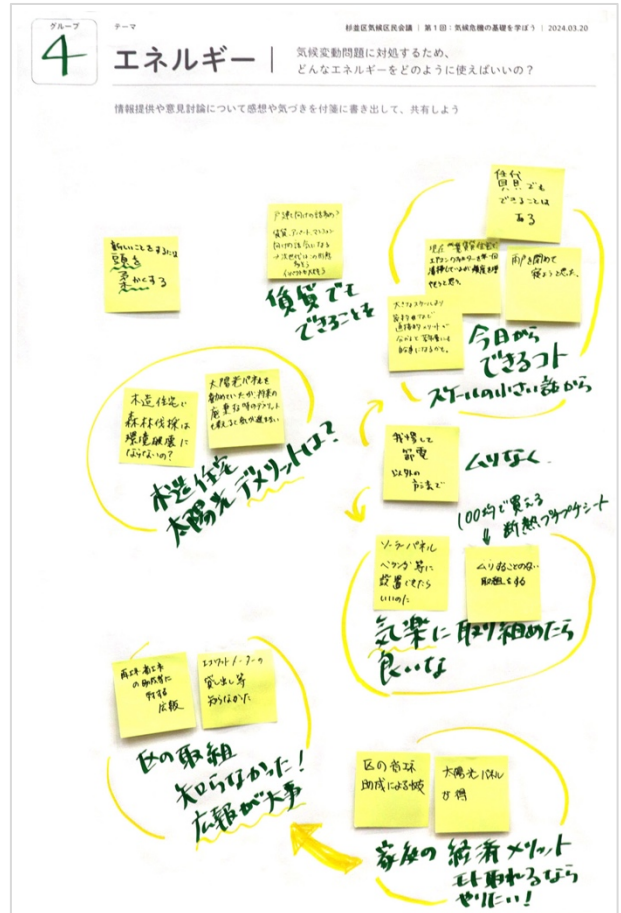
- ・賃貸でもできることはある
- ・現在賃貸住宅でエアコンのクラスターを年1回清掃しているが、頻度を増やそうと思う
- ・雨戸を閉めて寝ようと思った
- ・大きなスケールより節約など直感的なメリットがわかると若年層にも自分ごとになるかと

●家庭の経済的メリットが大事。“モト”が取れるならやりたい

- ・区の省エネ助成による収支
- ・太陽光パネルが得

●区を取組を知らなかった！広報が大事

- ・再エネ・省エネの助成をするのに対する広報
- ・エコワットメーターの貸し出し等知らなかった



5 グループ

●実際に取り組むのはハードルがある

- ・子どもの未来を守りたいだけだけでできるか…
- ・実はお金かかるとどこまで頑張れるか
- ・人生全体で見たらプラスだが、今は難しい
- ・若い世代にとっての40万円は大きい
- ・ZEH建てるのが高い。金利も上がるし、お金かけて取り組めない
- ・ゼロカーボンを目指す体力がない若者もある

●太陽光パネルに対する関心が増した

- ・太陽光パネル今からでも遅くない？
- ・太陽光パネル重要性
- ・つけて損はない
- ・日本で原子力は厳しいからこそ
- ・数字が見えるとモチベーションにつながる

●エコワットメーターへの関心が増した

- ・エコメーター見える化すると動きが変わる
- ・エコワットメーター貸出は生活に近い方がいい
- ・分からないと不安。知ることから始まる

●取組の意義を考えることが大切

- ・住んでいる所に愛着を持つことが大切
- ・大切なのはわかるけど…。実際CO₂減っても嬉しくない。自己満足になりたくない
- ・実感得にくい

●取り組むための補助の必要性がある

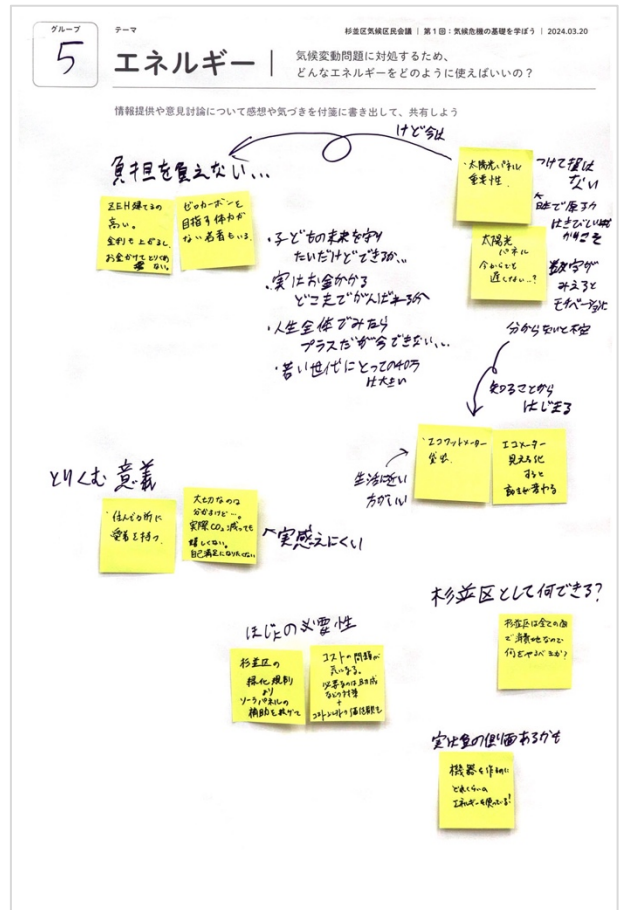
- ・杉並区の緑化規制よりソーラーパネルの補助をつけて
- ・コストの問題が気になる。必要になるのは助成などの対策+コスト以外の価値観も

●杉並区としてできることを考える必要がある

- ・杉並区は全ての面で消費地なので何をやるべきか？

●取組にも負の側面あるかもしれない

- ・機器をつくるのがどれくらいのエネルギーを使っている？



6 グループ

●エコワット借りてみたい。エコの認識変わる

- ・啓蒙の意味でもエコワットメーターは広く貸し出す等図書館の区営センターなどに設置
- ・エコワットメーターを借りようと思った
- ・もっと身近に貸し出しやすくして
- ・区民センター、派出所、図書館

●断熱化補助金

- ・制度の認知度を上げる
- ・区でもやっている事をもっと知らしめる！
- ・区の出組を知る機会が少ない。SNS での発信など

●SNS などでの区の情報アップして若い人に伝わるようにする

- ・光熱費など親と住んでいるとあまり知らない。若い世代も知ろうとしていくべき
- ・Web は興味ある人向け。Instagram や X など自然と情報が入ってくればもう少し若い人にも伝わるのでは。
- ・光熱費を知らないで、どれぐらいかかっているのか実感がわかない

●多様な立場の視点忘れずに

- ・「核家族世代」「戸建て」だけを話の中心にするならば、多様な立場を集めたはずのこの会議の意義が薄れるのでは

●知れば思ったより簡単

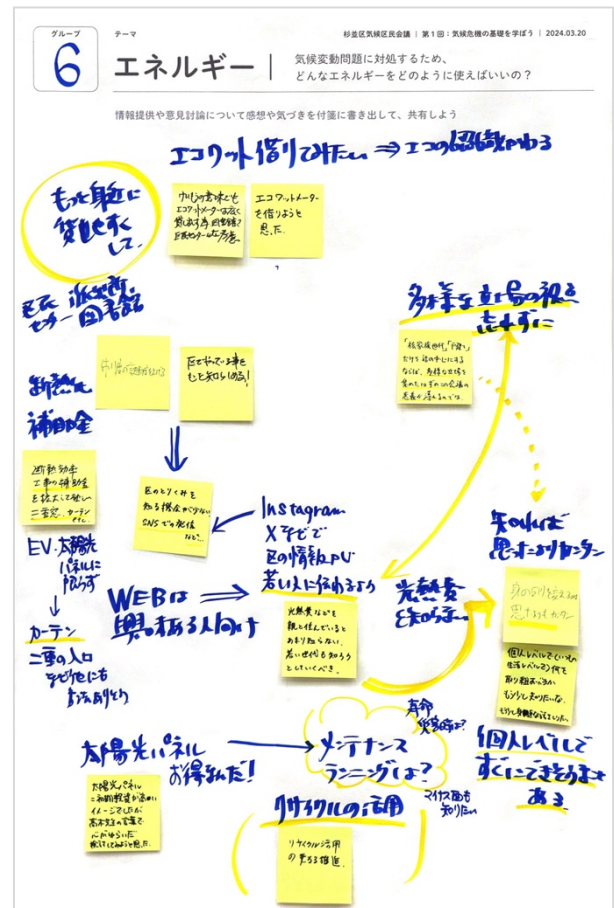
- ・身の回りを変えるのは思ったよりカンタン
- ・個人レベルで（いつもの生活レベルで）何を取り組むべきかももう少し知りたいな。もう少し身近な話を知りたい
- ・個人レベルですぐにできそうなことある
- ・遮熱効率工事の補助金を拡大してほしい。二重窓、カーテンなど
- ・EV・太陽光パネルに限らず
- ・カーテン。二重の入り口など他にも自分ですぐできる方法ありそう

●太陽光パネルはお得だと感じた

- ・太陽光パネルは初期投資が高いイメージでしたが高木先生の言葉で心が揺らいだ。検討してみようと思った
- ・メンテナンスランニングは？寿命・災害時は？マイナス面も知りたい

●リサイクルの活用

- ・リサイクル活用のさらなる推進



7 グループ

●家電の買い替えなども良いが、製造にもエネルギーを要するため、全体としての視点も大切

- ・例えば冷蔵庫、買い替え需要でエコになるが冷蔵庫に製造にもエネルギーTotal の検討も必要

●数値の見える化は大切だと思うため、エコワットメーターを活用してみたい

- ・CO₂の計測。「見える化」としても重要と思います
- ・エコワットメーターを借りて計測することから始めたいと思います
- ・エコワットメーター、使ってみたい。もっと宣伝を
- ・区役所でエコワットメーターが借りられること、もっと情報発信してほしい

●ネット通販などは便利だが、生活が物流に頼りすぎているかもしれない

- ・物流に頼りすぎた生活かもしれない

●リモートワークの検討にあたって、各家庭で使用する電気と通勤による車移動の排気ガスはどちらが環境に良いのか

- ・リモート増えれば出勤の車、営業の車減る？

●個人での効果実感できると良い

- ・個人や家庭で努力したことに効果は？
- ・個人でできること、できないこと、しづらいこと、しやすいこと、いろいろある
- ・自ら（計算して）排出量を測ってみたい

●木材住宅の話があったが、その木材資源はどこからくるのか

- ・木の家、木材資源

●取り組む人だけが負担にならないような制度化ができると良い

- ・取組にはコストもかかる。取り組む人だけがコストを負担してない様々な制度を拡充
- ・助成金はどういう試算？何年もつもの？コストは？

●意識を変えないと根本的には変わらない

- ・省エネ＝省コストという考え方を捨てる
- ・補助金があるからやろう…って現状では補助金がなくなるとやらなくなる



●暖房の方がエネルギーを使うことは意外だった

- ・冷房より暖房のほうがエネルギー使う！（イメージと違うのでは？）

●賃貸でもできること知りたい。また不動産を選ぶときに知りたい

- ・賃貸でできる対策、助成もっと知りたい！
- ・賃貸の省エネ性能、借りるときに知りたい
- ・賃貸の駅から徒歩〇〇分のように、住宅情報を掲示するときにエコ表示の義務化

●太陽光パネルのメリデメの判断が難しい。人によって意見が違うため、結論があると良い

- ・マンションに対する太陽光パネルどうなっているのか？現状や対策は？
- ・マンションに屋上はあるが活用はできないのか、情報がほしい
- ・「太陽光発電」本当にエコなのか？
- ・太陽光パネルのデメリットは？
- ・自宅にソーラーパネル設置したくなりました

8 グループ

●賃貸物件での省エネ性能向上を推進してほしい

- ・賃貸物件の省エネ表示を進めるといいかも
- ・家を選ぶ時に省エネ性能気にしていなかった
- ・賃貸物件について、区から環境配慮基準 明示させる試みがあると良さそう

●エコワットメーカー使ってみたい

- ・エコワットメーカーを使ってみたいと思いました
- ・アピール不足？エコワットメーカーもっと宣伝して欲しいです

●エコワットメーカーの貸し出し情報を初めて知った

- ・エコワットメーカーの貸し出しがあることを知らなかった。区の実験のアナウンスの仕方が重要
- ・エコワットメーカーの貸し出しが、区にあると知れたことはよかった

●「省エネがかっこいい」という文化に変化してほしい

- ・省エネがかっこいいと感じるような省エネのブランド化
- ・我慢して節約するのは良くないと学びました



●省エネ効率を上げるために日々の生活でできることがある

- ・ エアコンのフィルター掃除の重要性を感じた。自分でできることをすることの重要性

●物の購入時やエネルギー使用の際に、CO₂排出に対して包括的に考えたい

- ・ エネルギー費を誰に払っているのかを考えた（アラブ、ロシア…）
- ・ 安全保障上の問題にもつながると思う
- ・ 家庭のCO₂減らすだけでなくどの企業のどの製品を買うかも重要
- ・ ミクロ、マクロ…など、バランスのとれた意見を持つ
- ・ CO₂排出に対し包括的な視野を持つ大切さ（カーボンフットプリント？）

●発信の仕方が大事

- ・ 細田工務店のような取組をしている建設会社からゼロカーボンの発信があるとよいと思った
- ・ 杉並区が色々と環境について考えていることが知れてよかった

●知ることが大事

- ・ 太陽光パネルの助成金が区と都の両方を併用できることを知りました
- ・ 2025年からは新築には太陽光パネルが義務化されることを改めて認識しました

●アプリで知る事ができたら良い

- ・ CO₂の排出量を手軽にチェックできたら良いかも

●杉並区が取組が知れてよかった

- ・ 路面太陽光を知らなかった

●ミニ・パブリックスの参加者が個人と行政の橋渡しになれると思う

個人と行政の橋渡しの役割であることを再認識

9 グループ

●気候危機対策を自宅や建築から考える

- ・ちょうど PV を自宅に導入しようと考えていたので補助金情報を収集したい
- ・環境に配慮した空間設計、建築におけるゼロカーボンを追求していく

●情報を自然と受け取れる仕組みづくりがしたい

- ・情報発信、SNS 等だけでなく身近な人にも直接語って知ってもらうような努力
- ・情報は関心のない方にも届く方法があれば良いと思う
- ・対話
- ・杉並区の実践について全く知らなかった
- ・有益な情報が多かった

●気候危機対策で格差がでないためには何ができるか

- ・エコな生活を始める方にもやはり先立つものが必要？
- ・気候にジェントリフィケーションにどう対策すれば良いのだろうか
- ・格差なくしたい

●より充実した公共手段を取り入れたい

- ・車・電車・バス以外のモビリティを充実させてほしい
- ・シェア文化(欧米のような)

●杉並区独自の緑を増やす取組をしたい

- ・杉並も緑を増やしたい。生態系の豊かさも視野に
- ・杉並の公園プロジェクトとかもあり

●気候変動対策に取り組んだ結果を見える化したい

- ・地域単位での地域貢献度を可視化してほしい
- ・継続するために個人で何かわかりやすい結果表示がないか？エコメーター以外に



10 グループ

● やることがありすぎて何をどうしたら良いかわからない

- ・情報が多く何を选ぶべきか判断しづらい
- ・なにを基準とすべきか？最適が何か？
- ・どうしたらいいのかわからない…

● エコな暮らしのために買い替えて出るごみのリサイクルをどうするか？

- ・何をするのが一番エコになるのか見極める
- ・リサイクルってどうなっているの？（太陽光発電のパネルなど）
- ・家電を省エネの方に買い換えるのは良いが、古いものを出してしまったらごみが増えるのでは？

● 支援制度知らない、使えない

- ・支援制度があっても、情報にたどり着けない

● 賃貸住宅も対策を進めるべき

- ・賃貸もそうだがマンションなどの集合住宅で一定の対策が進んでいる？
- ・戸建に住んでいないのでちょっとピンとこなかった

● 自宅の電力消費量を知るにはエコメーターは良い！

- ・自宅の電力を把握したいと思った（エコメーター）
- ・エコメーターで省エネの見える化ができるとうい
- ・家電の省エネになる使い方を知りたいと思った

● 自分から知ろうとすることが大事

- ・現実に起こっていることを知ろうとすること
- ・地球に愛着を持つことが大事だ

● 情報がまとまっているプラットフォーム（サイト）があると良い

- ・プラットフォームがほしい（トレードオフなどをまとめたもの）
- ・環境危機情報も支援制度も情報不足、住民に伝わっていない
- ・人が減っていくので排出量が減ると思ってしまった



11 グループ

●生活者は選び、企業は選ばれるように

- ・排出量は企業が多いがその製品を使っているのは生活者

●我慢も必要？

- ・我慢はしなくてはいけないのではないでしょう

●様々な補助金についてももう少し周知した方が良い

- ・太陽光発電のパネルが大事なことはみんな知っているが、補助金が出ることを知らないせいで普及していないと思う
- ・まず、いろいろ補助金が出ることや、エコワットメーターの貸し出しがあることを知らなかった
- ・助成金や話されていた機械が周知されていないと感じた
- ・ソーラーパネルへの補助の手厚さにびっくり

●もっと根本的な施策が必要なのは

- ・すぎなみエコチャレンジって有効なのかしら

●賃貸住宅の省エネ対策や省エネの可視化を

- ・太陽光パネルなどもそうだが、賃貸の人には限界があるので既に住んでいる人向けにどういう対策ができるか考えたい
- ・集合住宅の省エネの可視化はぜひお願いしたい
- ・もし自分が家を選ぶことになったら、第一に場所の利便性や価格を見てしまうと思う。住宅の性能をもっと気にするようにしたい

●エコワットメーターで調べてみたい

- ・CO₂の家庭での排出量は知らないで、エコワットメーターで調べてみたいと思った

●4kw未満の太陽光パネルにも補助を

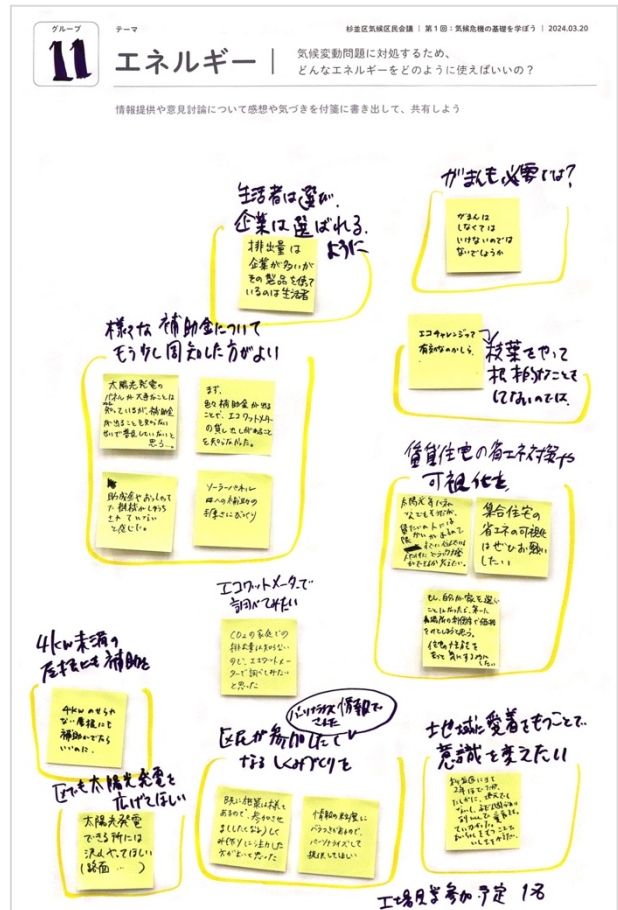
- ・4kw 載せられない屋根にも補助が出たらいいのに

●区でも太陽光発電を広げてほしい

- ・太陽光発電できる所にはたくさんやってほしい（路面など）

●パーソナライズされた情報で区民が参加したくなる仕組みづくりを

- ・既に施策は様々あるので、参加させる（したくなる）仕組みづくりに注力した方がよいと思った



- ・情報の粒度にばらつきがあるのでパーソナライズして提供してほしい

●地域に愛着を持つことで意識を変えたい

- ・杉並区に来て2年ほどだが、地元でもないし普段遊ぶのは別の所で、愛着を持っていなかった。愛着を持つことで意識を変えたい

12 グループ

●ソーラーパネルをつくることのコストはどうなっているの？

- ・ソーラーパネルを作ること環境・その他のコスト？
- ・こちらを立てればこちらが立たず

●一人一人の行動の積み重ねが大切

- ・地道な一人一人の行動でチリも積もれば大きい

●知ること、発信することが大切

- ・知らないことがとても多い（人心掌握？）
- ・発信などもっと必要

●個人のアクションを考える

- ・エネルギーの選択/エネルギーの選択は市民の投票権) 消費者
- ・見える化するコスト。認証制度あると良いかも
- ・古い機器の買い替え/古い機器の買い替え
- ・家庭からの CO₂/家庭からの二酸化炭素排出量について
- ・気をつけることを明確に気づくことが大切
- ・我慢ではなく、工夫が大切/我慢するのではなく、使い方を工夫する遠いうことの方が重要に思えた

●省エネ家屋が経済格差を払拭しない施策が大事

- ・省エネ家屋が経済格差を拡大しない施策の必要性

●高齢者層へのサポートも大切

- ・高齢者層へのサポート

●企業のアクションが大切

- ・企業を取り込むのはとてもいいと思った
- ・施策的なアクションも大切

